

第94号

ふれあい

一関市室根市民センターだより



楽しく学ぼう！ 冬の伝統行事を体験 子ども土曜塾 小正月行事



1月8日(水)小学生を対象とした「小正月行事」を開催しました。最初に、市民センター金森所長から小正月行事についての由来や室根地域で小正月に行われていた行事についての解説を聞いた後、低学年と高学年に分かれてそれぞれ活動しました。

1～2年生は団子粉に食紅で色を付け、五穀豊穡を願ってミズキに飾る5色の「繭玉(団子)」を作り、3～5年生は折り紙で干支の巳(へび)や椿のつるし飾りを制作しました。

地域の方から提供いただいたミズキの木に、みんなが作った繭玉や飾りを取り付けた後、市民センター正面玄関で、臼と杵を使った昔ながらの餅つきを行いました。子ども達が重たいきねで餅をついた際に、大きな掛け声と歓声が上がり、出来上がった餅は参加者全員でお雑煮、あんこ、きな粉で食べました。参加した子どもたちは、自分でついた餅を何度もおかわりして、「おいしい！」と笑顔を見せながら賑やかに楽しく過ごしていました。



青年ふれあい塾 エコキャップ活動& 教室開催のお知らせ

室根市民センター青年ふれあい塾では、12月10日(火)に、1年間で集まったペットボトルのキャップをエコキャップとして仙台市にある回収業者に届けました。

年間を通して集めているこのエコキャップは、回収したペットボトルキャップをポリオワクチンに換えて世界の子ども達に届けようという活動です。

今回、1年間当センター青年ふれあい塾事業で回収したエコキャップの量は12万5千44個。重さにして約290kgという結果でした。これは、ワケチンに換算すると、約145人分になります。

この事業は、皆様のご理解とご協力により、今回も回収できるキャップ(※飲料用ペットボトルのフタではないものや、汚れたものは回収不可)を多く回収することができました。誠にありがとうございました。

エコキャップ活動は今後も継続してまいりますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

また、2月23日(日)には当センターを会場に青年事業「蜜蝋リップを手作りしてみよう！」を開催します。

ミツバチについて学びながら、ミツバチの巣から採れる蜜蝋を使ったリップクリーム作りを一緒に体験しませんか？

詳細は別紙チラシをご覧ください。室根市民センター(お64-2347)までお申し込みください。



行事予定

※26日～翌月25日までの予定を掲載しています
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定の行事が変更・中止となることがございます。

月日	行事内容	場所	時間
1月	27(月) 健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00~12:00
	29(水) 高齢者買い物支援「お買い物ツアー」 ※浜横沢地区対象	室根町内	10:00~
2月	1(土) 子ども土曜塾「のり巻きを作ろう」	室根市民センター	10:00~12:00
	2(日) 第51回一関市室根町卓球大会	室根体育館	8:30~
	3(月) 健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00~12:00
	10(月) 健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00~12:00
	12(水) 成人教育 男の料理教室②	室根保健センター	10:00~12:30
	14(金) 文化史講座「安永風土記から知る郷土」	室根市民センター	10:00~12:00
	16(日) いわいどりオヤマ杯 一関市ソフトバレーボール大会	室根体育館	8:30~
	17(月) 健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00~12:00
	22(土) 第7回室根地域まちづくり推進大会	室根保健センター	13:30~16:00
	23(日) 青年ふれあい塾「蜜蝋リップを手作りしてみよう」	室根市民センター	10:00~12:00
	24(月) バランスボール体験会	室根市民センター	10:00~
25(火) 健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00~12:00	

編集/発行：一関市室根市民センター
〒029-1201
岩手県一関市室根町折壁字大里 201-1
TEL. 0191-64-2347/FAX. 0191-64-3044
E-mail: mmachikyo-kt@tiara.ocn.ne.jp

【編集後記】
年が明け、寒さも雪もこれからが本番！という感じですが、各教室やサークルの利用など、市民センターではたくさんの方が元気に活動しています。

去年から今年にかけては寒暖差が大きい日も多く、また感染症も流行の時期であることから体調を崩しがちですが、感染対策、体調管理に注意しながら、新しい趣味や楽しみを見つける場としてぜひ市民センターを今後も活用してくださいね！ (T.K)

おいしく楽しく健康に 作って食べよう! 男の料理教室

1月15日(水)室根保健センター調理室を会場に、「男の料理教室」の1回目を開催しました。食生活改善推進員が講師となり、小松菜とじゃこのごはん、厚揚げのひき肉炒め、具だくさんワンタンスープ、サツマイモとリンゴのデザートので4品を作りました。

昨年の教室に参加した方もいましたが、食材の切り方や調味料の量り方などを改めて教わりながら協力して献立を完成させ、調理の中で減塩の大切さやコツなどについても学びました。

参加者からは、実際に自分で作った料理を食べた感想として「薄味でもおいしく作れた。健康にも気をつけたい。」との声が聞かれ、おいしさの他に食べる大切さを実感できた教室となりました。



【子ども土曜塾】 飛ば! 手作りだこ!



12月21日(土)小学生を対象とした「ぐにゃぐにゃだこ」を作ろう!」を開催しました。奥州市宇宙遊学館の亀谷収氏を講師に、ビニールと竹ひごを使った風の作り方を教わりました。

簡単に作れ、持つとぐにゃぐにゃなのに微風でも良く飛ばすので、飛ばしに楽しめました。

参加した子どもたちは青空の中、完成したばかりの風を楽しそうに飛ばしていました。



春の芽吹きに向けて 病害虫防除作業

1月12日(日)室根市民センターでは「むろね山野草の会」村上義一会長、会員の皆さんによる庭木の病害虫防除の薬剤散布が行われました。

病害虫防除は新芽が出る前の寒い時期にしなければならぬため、毎年この時期に作業が行われており、大小の噴霧器を使って各施設の桜や庭木に病害虫防除の薬剤を撒いていただきました。

当日は、学校支援ボランティアとして室根中学校でも作業しました。

寒い中、作業にあたってくださった「むろね山野草の会」の皆さん、本当にありがとうございました。



文化史講座開催の お知らせ

文化史講座では、2月14日(金)に「安永風土記から知る郷土」、2月26日(水)に「地元探り方」を、2月28日(金)に「地元の歴史の探り方」を、3月1日(土)に「地元の歴史の探り方」を開催します。

「安永風土記から知る郷土」では、250年ほど前に書かれた文献から当時の室根の生活の様子について学びます。「地元探り方」では、戊辰戦争と室根の歴史の探り方、戊辰戦争と室根の歴史の探り方について学びます。

どちらも1月30日(木)からの募集となりますので、別紙チラシをご覧ください。室根市民センター(☎0242-642347)までお申し込みください。

室根町史談会からの お願い

皆さんの身の回りに古文書を含む歴史資料はありますか? 現在、全国的に歴史資料の廃棄が問題になっています。歴史的資料の保全保護にご協力をお願いします!

文芸(短歌・俳句・川柳)

11月26日、12月25日 投句

川柳 内田 正好 選

夕空にカラスの五線符ドレミレド

菜花高いかさまし料理でごまかそう

折壁 昭和 小葉

同窓会大声会話魅見遠し

温泉と並ぶ料理これはい

矢越 尾山 与太郎

家族での百人一首懐かしい

母ちゃんの介護は時に糞まみれ

直ぐ出来ぬどうぞ一句と言われても

矢越 加藤 光春

通院に追われて今年も年明け

インフルのワクチン接種後かぜをひく

ペットロスあつという間の一周忌

津谷川 佐藤 可奈

《選者詠》

口開けて年賀葉書きを待つポスト

短歌 佐藤 知男 選

夢見てた学生時代頑張って

勉強すれば道は開くと

そのお金振り込む前に相談を

オレオレ詐欺の手口色々

矢越 加藤 光春

杉群に銀杏一本今が季と

黄葉をちりばめ天を突きおり

春迄の眠りにつきし山畑を

師走の風は唸り渡りぬ

矢越 小山 富子

冬晴の煌く風に跨がりて

叔父の御魂は空を駆けるや

友と会い飲み語らいて歌い合い

千鳥足になるも心地よきかな

折壁 雷 風

《選者詠》

裸木の梢に百舌鳥のとまりあて

寒しと鳴くや声の鋭し

母子草七草なればと探せども

あらず北の地春まだ遠し

俳句 村上 群青 選

枯葉散る友はいずこに去り逝くや

カーテンを開けて驚く雪の庭

折壁 小山 すゑ

雪催ひとりて祝う誕生日

ノーベル賞受くるに拍手炬燵より

折壁 佐藤 川古

ここだけの話さらりと冬薔薇

いそいと家路たどりて堀炬燵

湯にひらく日なたのにはひ干菜風呂

折壁 五日市 道子

封を切るコーヒの香や冬びより

日だまりにふくら雀の並びけり

貼り替えし障子の白の映えにけり

折壁 雷 風

我もまた多事多端なる師走かな

電線に腹を減らして寒鴉

矢越 加藤 光春

《選者詠》

霊山の首無し不動淑気満つ

「ふれあい」文芸コーナーでは、投稿作品を募集しています。毎月25日が締切りとなっておりますので、郵送もしくは室根市民センターへ直接お持ちください。

選者による添削ののち、選ばれた句が翌号に掲載となります。【例：2/25 締切分→4/1 発行号掲載】皆さんの投稿をお待ちしております!